

カヤトの頂で富士山と対面しよう  
 玄岳～酪農王国オラッチェ

実施日 2019年3月2日(土)  
 天候 晴/曇り  
 リーダー 涌井 良明  
 参加者 服部美千代、涌井良明、山崎富美恵、  
 石附智江、宇野輝代、徳山敬子、峯  
 川弘子、宮崎敏男、佐藤聡美、阿部  
 みゆき、木村伸子 計11名  
 費用 3,880円(JR利用時) 車330円  
 車1,250円 計5,460円  
 タイム 熱海駅(9:00~25分)玄岳ハイキングコ  
 ース入口BS(9:50~55)玄岳登山口(1  
 0:15)熱海新道(11:00氷ノ池分岐  
 (11:40)玄岳(11:50~12:35昼食)  
 氷ノ池(13:00)偽入口周回(13:15  
 ~35)熱函道路(13:55)丹那断層  
 (14:05~25)酪農王国オラッチェ  
 (14:40~15:05)熱海駅(15:35)

当初予定の日曜が雨予報のため土曜日に前倒して実施したが、日曜参加予定より多くの皆様に参加いただきありがとうございました。おかげで僅かに早春を感じつつ静かな山歩きができました。

熱海駅からのバスを玄岳ハイキングコース入口で下車、デカイ玄岳の案内表示板がある。急坂の住宅地をくねくねと登る、熱海市の起伏の激しさを再認識された。



玄岳登山口からは山道になって、急登ではないがやや単調な登りが続いていく。時折聞こえる鳥たちの歓迎

の声? が癒やしといえは癒やしかも。

跨線橋で熱海新道を越して、才槌の洞との導標を見るが洞はすでにないらしい。氷ノ池との分岐にでるとすっかり曇空になり、薄いガスの向こうに



山頂が見えた。笹に覆われた道を上りきると山頂だ。



799.2mとあり歩き始めから約600mの標高差があり。久しぶりの登りにフーッ! 売りの富士山はザンネンだった

たがそれなりの眺望を楽しみ、丁度昼時で風を避けながらランチタイム。頭上に青空も広がることもあるが富士を見せるほどの勢いはなさそうだ。

数パーティの到着と入れ違うように山頂を後にする。北への尾根を下るが滑りやすい笹道でロープの箇所もある。

T字路で右へ氷ノ池へ寄るが池を半周近くも進みやっと見せたのはごく普通の池に見えたが、伊豆スカイライン



近くにありながら今では訪れる人も少ない静かな佇まいだった。



T字路まで戻り次のポイントの熱函道路向かう。笹から枝のうるさい道を下るが途中で偽分岐テープに引き込まれてヤブ道を往

復する余興もあったが、クルマびゅんびゅんの熱函道路にでると今日の山道もほぼ終了。民家の間の小道を抜けると丹那断層に出て、地震断層のお勉強。

冷たさを感じる風のなか農道を歩いてゴールの酪農王国オラッチェに。

タクシー待つ間にお約束の牛乳飲んでから熱海駅へ。牛乳では満足できないメンバーは麦酒会へ直行。

何はともあれ、お疲れ様でした!

でも富士山見たかったなー!

(記&写真・涌井 良明)